

## 平成 29 年度イベント等報告

### 上小阿仁村全村植樹祭

平成 29 年 5 月 17 日に上小阿仁村南沢字砂子淵村有林において上小阿仁小学校 3 年生・6 年生の生徒を始め、林業関係者等が参加し全村植樹祭が開催されました。

主催者である上小阿仁村長の挨拶に続き、当支署長より「近年、自然環境に対する意識が高まり、植樹祭等をとおして育てられてきた村有林が立派に成長し、村内のいろいろな建物に使用されている。この豊かな緑を永遠に持続させるためにも、山の恩恵に感謝し、心を込めて木を植えるようお願いしたい。」との挨拶がありました。

今回は、スギポット苗(少花粉品種)300 本とスギコンテナ苗(小花粉品種)150 本を植樹しました。

当支署職員も小学生等に指導しながら植樹を行い、最後に記念標柱建立し記念撮影をして終了となりました。



### 高山植物盗掘防止パトロール

平成 29 年 5 月 20 日(土曜日)早朝、森吉山ダム広報館前において山岳遭難防止啓発活動を実施しました。北秋田警察署、秋田県自然保護課、北秋田市等関係団体と連携して入山者にチラシを配布し、遭難や熊被害について注意を呼びかけました。



### 遭難防止の心得

昨年の県内における春の山菜採りでは、41件の遭難事故が発生しており、9名の方が亡くなっています。遭難者は、山菜やタケノコ採りに夢中になり道に迷ったり、滑落して動けなくなるなどといったことが主な要因となっています。また、最近ではクマに襲撃されるケースも多くなっています。楽しい山菜採りや散策は、危険と隣り合わせという事を決して忘れないでください。

山での遭難は、残された家族に経済的な負担が発生する可能性があるほか、地域の方にも大変迷惑をかけることとなります。次の遭難事故防止の心得を遵守し、遭難には十分注意してください。

#### 遭難事故防止の心得

- 家族や友人に入山場所・帰宅予定時間などを告げて出かける
- 天候を確かめ、天候が悪くなりそうなときには山に入らない
- 携行食品や雨具、ライター、白色タオル、充電した携帯電話を携行する
- あらかじめ携帯電話の通話エリアを確認しておき、遭難したら110番・119番通報する（居場所が特定できるため）
- 防寒対策に十分気をつける
- 山と正反対の目立つ色の服装を身につける
- 一人で山に入らず、仲間と一緒に行動する
- 山に入った際、危険と思ったら無理をせずに立ち入らない

●登山計画書の電子申請がスマホ・携帯電話からできます  
 ・秋田県警本部では、スマホ、携帯電話からも申請できるようになりました。  
 ・下記のQRコードを読み込んで申請してください。




北秋田市・米代東部森林管理署上小阿仁支署

### 万が一遭難した時は

～ 日没後の行動は危険です ～

歩き回らず木の陰など風や雨をしのげる場所を確保し、体力の温存に努めましょう。



捜索のヘリコプターの音が聞こえたら、目立つ色（冬山以外は白色のタオル等）の大きな物で合図してください。

### クマに注意

県内各地で山菜採りや登山、また溪流釣りや林業作業中のツキノワグマによる被害が報告されています。この周辺には、クマが生息しています。山に入る場合は十分に注意してください。

- クマを近づけない。鈴や笛、ラジオを携行し、音を出しながら行動する
- クマに出会った場合、あわてずゆっくり後ろに下がって、静かに立ち去る
- 子グマを見かけたら、親グマがいるため、安易に近寄らない
- クマの足跡やフンを見つけた場合は先に進まずその場を立ち去る
- 非当分の食べ残し、飲み残しをその場に捨てるとクマを引き寄せる原因になるため捨てないこと



**熊出没注意!**

北秋田市・米代東部森林管理署上小阿仁支署

## 秋田県林業トプランナー養成研修の現地研修

平成 29 年 7 月 13 日(木曜日)、秋田県林業研究研修センターの依頼を受け、研修生の知識と技術向上を図ることを目的に、当支署管内の製品生産請負事業箇所及び上大内沢自然観察教育林にて秋田県林業トプランナー養成研修を行いました。

この研修は、秋田県林業大学生の「森林施業」のカリキュラムの一環として行われ、3期生15名とともに林内を散策しながら、当支署長より国有林野事業の概要とともに天然秋田スギの特徴等について説明を行いました。

また、午後からは素材生産請負の伐採現場を見学し、当支署職員の説明に対して熱心に質問するなど林業に対する関心のたかさがうかがえました。

将来の秋田の林業を担う若手技術者に期待したいと思います。



## 遊々の森「のぞみの森」における体験林業

平成 29 年 7 月 18 日（火曜日）、遊々の森「のぞみの森」において、上小阿仁中学校 3 年生 13 名を対象に体験林業（枝打ち、除伐）を開催しました。

生徒にとっては初めての経験で、最初はどこから着手すればいいのか困惑した様子でしたが、支署職員から鋸の使い方や作業の進め方について指導を受け、作業を進めるうちに鋸の取り扱いにも慣れ、作業速度や精度が上がり、手入れの行き届いた清々しい造林地となりました。

来年以降も引き続き体験林業等を通して、森林の持つ役割について関心を持ってもらえればと思います。





## 森吉山麓高原オオハンゴンソウ駆除作戦

平成 29 年 8 月 20 日(日曜日) 森吉山野生鳥獣センター周辺において、NPO 団体主催のオオハンゴンソウ駆除作戦が行われました。当日は、環境省、森吉山岳会、一般参加者を含む 19 人が参加し、当支署からも 7 名が参加しました。

オオハンゴンソウは、明治中期に観賞用として北米より導入された植物で、繁殖力が強く、特定外来生物に指定されており、森吉山麓高原周辺の生態系に危害を及ぼしています。

今年は深く根を張る大きな株が少なく、根の浅い小さな株が多かったため、容易に掘り出すことができました。また、駆除した量も昨年の 7 割程度に減少し、これまでの駆除作戦の成果を感じることができました。

今後も関係機関と連携しながら、森吉山麓の生態系の保全に努めていきたいと思えます。



# 山岳遭難防止パトロール

平成 29 年 9 月 30 日(土曜日)早朝、森吉ダム広報館前において山岳遭難防止啓発活動を実施しました。北秋田警察署、北秋田市等関係団体と連携して入山者にチラシを配布し、遭難やクマ被害について注意を呼びかけました。



## 遭難防止の心得

今年も秋の入山シーズンとなりましたが、北秋田警察署管内においても毎年**遭難事故**が発生しています。

遭難のほとんどは森吉山周辺で発生しており、きのこ採りに夢中になり道に迷う、滑落し動けなくなるといったことが主な要因となります。

最近では**クマ**に襲撃されるケースも多くなってきています。楽しいきのこ採りや散策は、危険と隣り合わせという事を決して忘れてください。



山での遭難は残された家族に**経済的負担**が発生する可能性がある他、

**地域の方**にも大変**迷惑**をかけることになります。

次の遭難事故防止の心得を遵守し、遭難には十分に注意してください。

### 遭難事故防止の心得

- 「登山申請書」の提出を厳守する
- 家族や友人に入山場所・帰宅時間などを知らせる
- 天候を確かめ、天候が悪くなりそうときには山に入らない
- 万一来、携行食や雨具、ライター、白いタオル、充電した携帯電話などを携行する
- あらかじめ携帯電話の通話エリアを確認しておき、遭難したら110番、119番通報する(居場所が特定できるため)
- 防寒対策も十分に気をつける
- 山と正反対の目立つ色の服装で、寒さに備えた服装で山に入る
- 一人で山に入らず、仲間と一緒に行動する

北秋田市・北秋田警察署・北秋田市消防本部  
米代東部森林管理署上小阿仁支署

## 山に入る前に

～ 登山計画書の提出を厳守してください ～

- 登山計画書の電子申請がスマホ・携帯電話からできます
- 秋田県警察本部では、スマホ・携帯電話からも申請できるようになりました
- QRコードを読み込んで申請してください



## 万が一遭難した時は

～ 日没後の行動は危険です ～



- 歩き回らず木の陰など風や雨をしのげる場所を確保し、体力の温存に努めましょう
- 携帯電話で110番、119番通報してください
- 捜索のヘリコプターの音が聞こえたら、目立つ色の大きな物で合図してください

## クマに注意

～ クマの出没が多発しています ～

- 県内各地でツキノワグマによる死亡事例を含む被害が報告されています
- この周辺にはクマが生息していますので山に入る場合は十分に注意してください



北秋田市・北秋田警察署・北秋田市消防本部  
米代東部森林管理署上小阿仁支署

## 上小阿仁小中学校 小学3年生を対象とした森林教室

平成29年11月20日(月曜日)、上小阿仁小中学校において、小学校3年生の生徒10名を対象に森林教室を開催しました。

当初は、当支署管内上大内沢自然観察教育林にて自然観察を行う予定でしたが、例年より早い降雪により、教室での実施となりました。

支署職員が、森林管理署の仕事内容や森林の役割、上小阿仁村の森林等について写真やクイズを交えながら紹介し、事前に採取しておいた「落ち葉」や「冬芽」、「樹皮」等を顕微鏡で観察しました。

生徒からは熱心な質問もあり、「木材が電気を作る材料になることに驚いた」「切った木が運ばれ、製材される工場が上小阿仁村にもあると初めて知った」等の感想が出されました。

今回の森林教室が、森林に目を向けるきっかけになればと感じたところです。





## かみこあに保育園への出前「木育」体験の実施

平成30年2月15日(木曜日)、上小阿仁村立かみこあに保育園において園児41名を対象に、局指導普及課と合同で出前「木育」体験を実施しました。

はじめに秋田県水と森のマスコット「森っち」から木の役割についてクイズを交えて説明があり、その後「森っち」が持ってきた木のおもちゃで遊びました。木のおもちゃは、県産材を使用した積み木や卵型の木の球を敷き詰めたプールなどがあり、日頃はプラスチック製のおもちゃで遊ぶことが多い園児たちも、木の香りやぬくもりを感じつつ、思い思いの遊び方で楽しんでいました。

上小阿仁村は、総面積の9割を占める豊かな森林に囲まれています。そこで暮らす園児たちは木や森に親しむ機会が少ないようでした。今後も、園児が木材に親しむきっかけとなるよう、この活動を管内の保育園において継続して実施したいと考えております。



